



内閣総理大臣 小泉純一郎様
経済産業大臣 二階俊博様
環境大臣 小池百合子様
青森県知事 三村信吾様
(株)日本原燃社長 児島伊佐美様

六ヶ所再処理工場の稼働およびアクティブ試験の中止を求める要望書

日本YWCAは1970年以來「核」否定の立場からさまざまな活動と運動を展開してきました。

私どもは青森県六ヶ所村へは何度も出かけ、現地の事情もよく見ております。

現在、六ヶ所村では、国の原子力政策に基づいて日本原燃株式会社が再処理工場で本格稼働に向けてのアクティブ試験を実施しようとしています。この試験による施設、備品の放射能汚染はもちろんのこと、周辺環境への放射能の影響も避けられません。また、プルトニウムが抽出されてプルトニウム保有量が増えることとなります。

日本は余剰プルトニウムを持たないとの方針を国内でも国際的な場でもたびたび表明していますが、現在43トンのプルトニウムを保有しています。再処理によってプルトニウムが増え続ければ、非核保有国で最初の核拡散国になりかねず、国際的批判を受けることにもなるでしょう。

電力各社は1月6日、プルトニウムの利用計画として2012年以降に全国の16~18基の原発でプルサーマルを実施することを公表しましたが、プルサーマルについては拒否の反応が強く、地元の了解が得られている原発はありません。現在稼働している原発はプルトニウムをMOX燃料として使用することは想定されていない上に老朽化がすすんでおり、プルサーマルには大きなリスクが伴います。

この状況の中で六ヶ所再処理工場の稼働に向けてのアクティブ試験を実施することは余剰プルトニウムを増やすだけです。

六ヶ所再処理工場の稼働およびアクティブ試験は中止するよう要望いたします。

2006年1月24日

日本YWCA

会長 青木恵子

総幹事 川端国世